Japan Geoscience Union Meeting 2011
(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)
©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.

MIS001-P03 会場:コンベンションホール 時間:5 月 25 日 10:30-13:00

別府湾最深部のタービダイト（イベント堆積物）の特徴
Characteristics of turbidites at the deepest part of the Beppu Bay

池原 研 [1*], 宇佐見 和子 [1], 入野 智久 [2], 加 三千宣 [3]
Ken Ikehara[1*], Kazuko Usami[1], Tomohisa Irino[2], Michinobu Kuwae[3]

[1] 産業技術総合研究所地質情報研究部門, [2] 北海道大学大学院地球環境科学院, [3] 愛媛大学
[1]Geological Survey of Japan, AIST, [2]Hokkaido University, [3]Ehime University

別府湾最深部（高崎山沖）のコアには様々な厚さのタービダイトが挟在する．多くは厚さ１ cm に満たないシルト質の薄層からなるが，まれに数十 cm の厚さをもつものも挟在する．厚いタービダイトでも最下部の砂質部の厚さは薄く，せいぜい数 cm であることが多い．このため，厚いタービダイト泥が砂質部を覆う．タービダイト泥は通常時に堆積する半遠洋性泥（岩相的には珪藻軟泥）に比べ，砕屑粒子に富み，淘汰を受けており，密度が高い．タービダイトの粒子は，大分川あるいは大野川側から供給されたものと推定される．これらのタービダイトの少なくとも一部は地震起源と考えられるが，洪水起源の可能性も否定できず，堆積年代も含めて，さらに検討を要する．

キーワード: タービダイト, 別府湾, 堆積構造, 地震, 斜面崩壊
Keywords: turbidite, Beppu Bay, sedimentary structure, earthquake, slope failure